

船舶事故等調査報告書

平成21年10月1日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009神第162号	
事故等種類	運航阻害	
発生日時	平成21年3月7日 10時30分ごろ	
発生場所	兵庫県東播磨港岸壁	
事故等調査の経過	平成21年6月9日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 貨物船 あづま丸、199トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 132748、東丸海運有限公司</p>	
乗組員等に関する情報	機関長、五級海技士（機関）	
死傷者等	なし	
損傷	主機過給機の排気ガス入口ケーシングに破孔	
事故等の経過	<p>本船は、出港に備えて機関用意中、平成21年3月7日10時30分ごろ、主機のエアランを実施したところ、インジケータコックから水が噴出した。</p> <p>直ちに業者を手配して点検調査の結果、主機過給機の排気ガス入口ケーシングに破孔が生じていることが判明、中古のケーシングと交換し、以後定期検査入渠までの2箇月間、約2ノットばかりの減速運航を余儀なくされ、入渠時に同ケーシングを新替した。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>なし</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>主機過給機の排気ガス入口ケーシングが経年劣化し、肉厚が減少して破孔に至ったものと考えられる。</p>
原因	本インシデントは、本船が東播磨港岸壁において出港準備中、主機過給機の排気ガス入口ケーシングが、経年劣化により肉厚が減少して破孔を生じたため、発生したものと考えられる。	